

銚子市でイオンが発行する電子マネー「犬吠WAON（ワオン）」にためたポイントを、銚子市の地域貢献プログラムに寄付できるようにするシステムが5月初旬から稼働する。従来ポイントは買い物に使えるだけだったが、地域活性化を目指す市民活動の支援にも役立つ。電子マネーのポイントを地域おこしに役立てるのは珍しい。

「犬吠ワオン」は2010年3月以降約4万5千枚を発行し、年間約31

WAON使って独自に付与 ポイント寄付で地域貢献

銚子で来月スタート



スター」を1割付与する仕組み。

新システムの稼働に合わせ、地域共通ポイントの発行促進を受け持つ特定非営利活動法人（NPO法人）のBeCOM（西田美樹代表理事）が専用端末「こちよっぴー」を募集する。BeCOMは対象プログラムに写真IIを開発した。縦約17センチ横約29センチの小型タブレット（多機能携帯端末）でWAONカードをかざして寄付するポイント

ト数を入力する。寄付できるのはすきくるスターのみ。

の計画。端末を通して銚子の魅力を紹介する動画や観光スポットの地図や写真、加盟店情報なども提供し、一部の情報は携帯電話に取り込めるようにする。

WAONポイントの仕組みを、地域貢献プログラムの支援に活用するのは初の試み。西田代表理事は「地域経済の活性化と地域貢献活動をつなぐツールとして電子マネーを有効に活用し、年間100万円の寄付を集めた」と話している。

億円のカード売り上げがある。利用200円ごとに、1WAONポイントと地域共通ポイント「すきくる

ポイント」を1割付与する仕組み。

専用端末は市役所や観光施設、WAON加盟店などに約30台設置する。